

NARO 生育・収量予測ツールで 露地野菜 6 品目の収穫予測が可能に

「NARO 生育・収量予測ツール③露地野菜」は、栽培地の日射量と気温から作物の生育量を推定するプログラムです。収穫適期や収量の予測を可能とすることで、農作業や出荷計画の策定をサポートします。

☆ 技術の概要

1. 本ツールは、主要な露地野菜（キャベツ、レタス、タマネギ、ホウレンソウ、ブロッコリー、葉ネギ）について、栽培地の日射量と気温の情報から作物の日々の重量増加をシミュレーションします。前年との気象の違いや変化に伴う作物生育の遅速から、収穫適期のずれや収量の増減を予測することが可能です（図）。
2. シミュレーションをするためには、栽培地の栽培期間中の日射量と気温の日別値、作付品種、栽植密度、作物の初期重量の入力が必要です。
3. 栽培中の葉面積などの生育情報を入力すれば生育量の推定精度が向上します。定植後 1～2 か月時点の葉面積を入力したキャベツの生育シミュレーションでは、球重の実測値と推定値の誤差平均±4.6%と高い推定精度がありました。

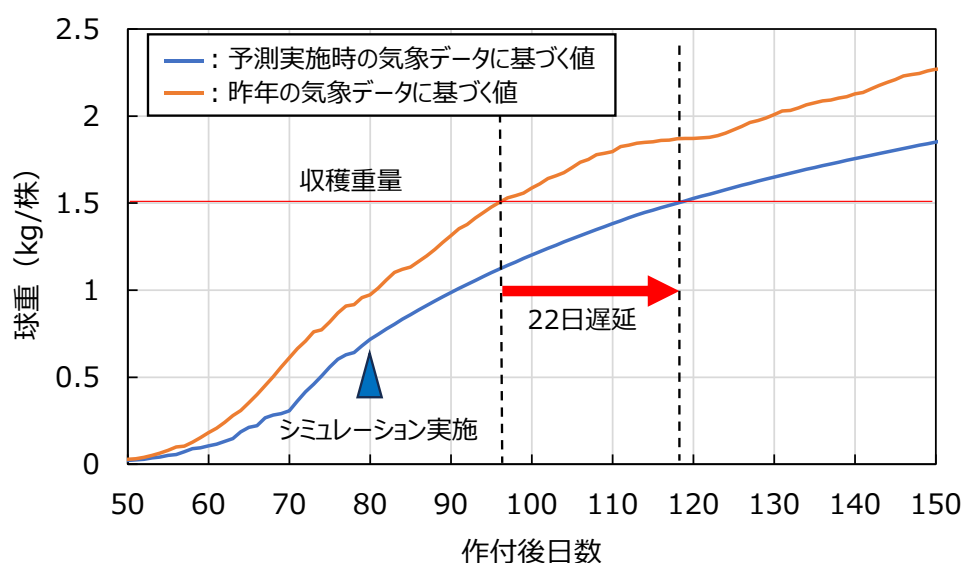


図 NARO 生育・収量予測ツールを使ってキャベツの収穫適期のずれを予測した例

この例では、球重 1.5kg に到達した時を収穫適期とした場合、前年に比べ当年は気象の違いから収穫適期が 22 日遅延することが予測される。

☆ 活用面での留意点

本ツールは、インターネットを介して利用するアプリケーションです。農業データ連携基盤（以下、WAGRI）を通じて提供しています。詳しくは、WAGRI の公式ウェブサイト (<https://wagri.naro.go.jp>) をご確認ください。

（農研機構・野菜花き研究部門 佐藤文生）